

Q14 非感染者のリハビリテーション介入を制限する必要は、どのような環境になったら制限する必要があるのでしょうか？

Answer

外来リハビリテーションは地域の感染発生状況や施設によって状況が異なることや患者さんの身体状況によって異なるために環境によって制限が異なります。密閉・密集・密接などの環境を配慮した上で行うことも可能な場合もありますが、人との接触を避けるための外出制限下では外来リハビリテーションよりも在宅でのリハビリテーションが推奨されます。

日々、リハビリテーションの実施にあたっては、スタッフおよび患者の手指消毒を行い、換気を十分に行うことや患者同士の距離を保つこと、機材の衛生管理を行うことが重要です。

詳細資料

・ COVID19 に対する心臓リハビリテーション指針【心臓リハビリテーション学会
2020/4/13】

http://www.jacr.jp/web/wp-content/uploads/2020/04/JACR_CV19_20200413.pdf